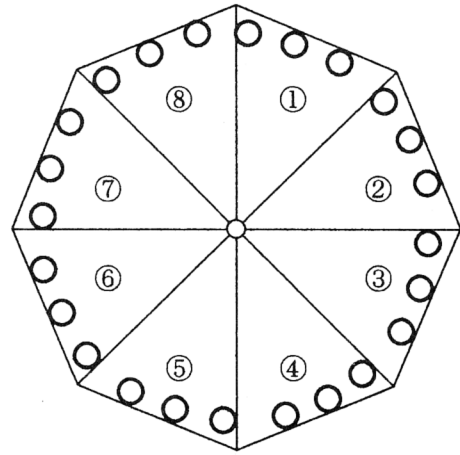


- ⑥ 右図のように傘の縁のあたりに、傘の骨と骨の間を3等分し、半月ごとの日付を【資料】を参照しながら、図の○の位置に記入する。

※ 傘を内側から見た図。

丸数字は対応する型の番号を示す。

※ このときの日付は、午後8時に観察するときのもの。



- ⑦ 下記の手順に従って、方位磁針を作り、カードリングに結ぶ。

ア まち針を、先端がN極になるように、強力磁石で磁化する。(右図参照)

イ 1cmぐらいの長さに切ったストローに、磁化したまち針を刺す。(下図参照)

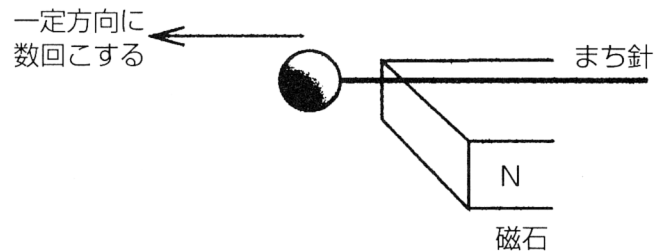
ウ まち針の先端に、三角形に切った蓄光シールを刺して、とめる。(下図参照)

エ まち針の丸い部分に、蓄光塗料を塗る。

オ 50cmぐらいに切った木綿糸の一方を、ストローにとめる。

カ 木綿糸のもう一方を、カードリングに結びつける。

キ カードリングを持って方位磁針をつり下げたときに、方位磁針が水平になるように、ストローに刺したまち針の位置を調節する。



- ⑧ 方位磁針と結んだカードリングの部分を、傘の先端に引っかけて完成となる。